

霞城学園通信

平成29年度 第6号 （通巻第332号）
発行／山形県立霞城学園高等学校ⅠⅡⅢ部

感動と共感を呼ぶ発表 —校内生活体験発表会—

9月28日（木）本校アリーナにおいて、平成29年度校内生活体験発表会が開催されました。各クラスの代表が、学校生活やアルバイトを通して学んだことや、家族や友人とのかわりのなかで気づいたり考えたりしたことを発表しました。いずれも自らの体験に基づいた内容で、聞く者に感動と励ましを与えるすばらしい発表でした。最優秀賞に輝いたⅡ－2 伊藤 雄哉 君は、アルバイトを通して知った、働くことの大変さとそこから学んだことを生き生きと発表してくれました。伊藤君は10月5日（木）米沢工業高等学校で行われる山形県高等学校定時制通信制生徒「第62回生活体験発表会」に出場します。

校内生活体験発表会の入賞者は以下の4名です。

最優秀賞	Ⅱ－2	伊藤 雄哉	「継続は力なり」（県大会出場）
優秀賞	Ⅰ－3	村田 綾乃	「最後の夏休み」
優秀賞	Ⅱ－4	樋口 航大	「失敗を乗り越えて」
優秀賞	Ⅲ－2	片桐 真央	「ボランティア活動に参加して」



平成29年度前期終業式

校内生活体験発表会後に前期終業式が行われました。浅黄校長先生は式辞の中で、4月からの半年を振り返り、創立20周年記念行事、定時制通信制体育大会、クラスマッチ、南東北インターハイについて触れ、南東北インターハイでは本校教職員や高校生活動推進委員の生徒も大会運営に尽力したこと、総合開会式が選手団と迎える側が一体となった温かなものだったことを話しました。

次に、前期始業式で話したことについて確認し、「受け止めることを大切にすること」「授業を大切にすること」ができたかを問いかけるとともに、この二つは高校という場で自分を高め、自分の可能性の扉を開くものだと、その大切さを説きました。さらに、学びというものは、さまざまな場・人間関係の中で得ることが大きい、輪の中に入って自分の世界を広げてほしいと生徒に語りかけ、三週間後の霞城祭では学校のパワーを示してほしい、後期もパワーを発揮してほしいと締めくくりました。



フードドライブに参加しましたー県内高校初ー

8月22日（火）～8月31日（木）に霞ストの呼びかけで、生徒・教職員がフードドライブに参加しました。フードドライブとは、家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄り、それらをまとめてフードバンクに寄付する活動です。9月4日（月）に生徒代表がやまがた福わたし（フードバンク山形中央）に食品を届けました。合計 112 点 38.85kg の食品を寄付することが出来ました。今回の活動で「フードバンク」「フードドライブ」という言葉を初めて聞いた生徒もいたことと思います。霞ストは「余ったギフトパックなどを寄付して支援したり、逆に自分が苦しくなったときに“食”という形で支援してもらえ活動があること、支援を必要としている人が山形にもいる事を知ってほしい」という趣旨で活動しています。今回の取り組みは山形県内高校初ということで、やまがた福わたし（フードバンク山形中央）のHPでも紹介されました。これを機会に、生徒の皆さんにも格差・貧困・食品ロスなどの社会問題や社会の中で自分たちにはどんなことができるのか、ということを考えてもらえたらと思います。



やまがた福わたし（フードドライブ山形中央）のHPはこちら
<https://foodbankyamagatachuoh.jimdo.com/>

後期の授業が始まりました

10月2日（月）新たな決意を持って部毎に視聴覚室に集まり、後期の始業式が行われました。

浅黄校長先生より、前期終業式で確認した二つの目標「受け止めること」「授業を大切にすること」を実行するために心掛けてほしいことについてのお話がありました。一つは、「継続することの大切さ」です。9月9日に日本で初めて陸上100M走で10秒を切った桐生祥秀選手は、高校3年生の時10秒01を出し、10秒の壁を破ることを期待されていました。しかし、大学に入ってから伸び悩み、怪我やスランプに苦しみ、コーチとも衝突しながら、とうとう大学4年で9秒98という記録を打ち立てました。順調でなくともあきらめず、地道な努力を積み重ねた末に偉業を成し遂げたことが人々を感動させたという話をして下さいました。

二つ目は、「時間を大切にすること」です。ギリシャ神話のクロノスとカイノスという二つの時間の話がありました。クロノスは時計の時間のような、機械的な時間で、世界共通であるのに対して、カイノスは、楽しい時間は短く感じる、というような意味のこもった時間であり、自分が意味を感じているとき、その時間は重く、深いものになる、という話をされました。中身の濃い時間を過ごしてほしい、目標を持って意味ある時間を過ごしてほしいと話されました。

後期には、霞城祭や演劇教室などの学校行事、生徒会役員選挙や後期生徒総会などの生徒会活動、総合学習発表会など、様々な活動が計画されています。それぞれの活動に自分なりの意味を見だし、楽しみながら主体的に取り組んでほしいと思います。また、学習内容も前期以上に深まり、充実してきます。難しいと感じることもあるでしょうが、ひとつひとつこつこつと積み重ねて力をつけてほしいと願っています。

